

なでしこ通信 第 47 号

《隔月発行》

— 目 次 —

- ★美智子さまから真子さまへのお手紙
- ★金田一京助氏の『女性語』観
- ★拉致被害者を救出の愛媛 10 万人署名にご協力を！
- ★めざす会のみなさまへ
TOSS 愛媛代表 戸井和彦
☆事務局から

美智子さまから真子さまへのお手紙 ■ □

「ばあば」が真子さまに送ったお蚕さんの手紙

— 美智子さま喜寿特別展で公開 —

真子ちゃん

真子ちゃんは、ばあばがお蚕（かいこ）さんの仕事をする時、よくいっしょに紅葉山（もみじやま）のご養蚕所（ようさんじょ）にいきましたね。

今はばあばが養蚕（ようさん）のお仕事をしています。このお仕事は、真子ちゃんのおじい様のひいおば様の昭憲皇太后（しょうけんこうたいごう）様、おば様の貞明皇后（ていめいこうごう）様、そしてお母様でいらっしゃる香淳皇后（こうじゅんこうごう）様と、

第 5 回研修会「パッテンライ !!」上映会の時間変更について

開催日時（変更後）： 7 月 21（土） 9:10～12:00

会場： 砥部町文化会館 3 階視聴覚室

明治（めいじ）、大正（たいしょう）、昭和（しょうわ）という三つの時代をとおってばあばにつたえられたお仕事です。

真子ちゃんは紅葉山（もみじやま）で見たいろいろの道具をおぼえているかしら。

蚕棚（かいこだな）の中の竹であんだ平たい飼育（しいく）かごをひとつずつ取り出して、その中にいるたくさんの蚕（かいこ）に桑（くわ）の葉をやりましたね。

蚕（かいこ）が大きくなって、桑（くわ）をたくさん食べるようになってからは、二かいにあるもっと深い、大きな木の枠（わく）のようなものの中に移して、

こんどは葉のいっぱいついた太い桑（くわ）のえだを、そのまま蚕（かいこ）の上において、やしないましたね。

しばらくすると、見えない下のほうから蚕（かいこ）が葉を食べるよい音が聞こえてきたのをおぼえているでしょう。

耳をすませないと聞こえないくらいの小さな音ですが、ばあばは蚕（かいこ）が桑（くわ）の葉を食べる音がとても好きです。

蚕（かいこ）は、どうしてか一匹、二匹とはいわず、馬をかぞえるように一頭、二頭と数えることを真子ちゃんはおぼえていたか？

あの時、真子ちゃんといっしょに給桑（きゅうそう）をした二かいの部屋には、たしか十二万頭ほどの蚕（かいこ）がいたはずですよ。

真子ちゃんはもう万という数を習いましたか？

少しけんどうのつかない大きな数ですが、たくさんたくさん蚕（かいこ）があそこにおいて、その一つ一つが、白や黄色の美しいまゆを作ります。

きょねんとおととしは、真子ちゃんも自分で飼ったので、蚕（かいこ）が何日かごとに皮をぬいだり、眠ったりしながらだんだん大きくなり、四回目くらいの眠りのあと、口から糸を出して、自分の体のまわりにまゆを作っていくところを見たでしょう。

きょねんはお養蚕所（ようさんじょ）の主任（しゅにん）さんが、

真子ちゃんのためにボール紙で小さなまぶしを作って下さったので、
蚕（かいこ）が糸をはきはじめたら、すぐそのまぶしに入れましたね。

蚕（かいこ）は時が来るとどこでもまゆになりますが、
まぶしの中だと安心して、良い形のしっかりとしたまゆを作るようです。

まぶしには、いろいろな種類（しゅるい）があり、
山をならべたような形の、わらやプラスチックの
まぶしの中にできたまゆは手でとりだしますが、
真子ちゃんが作っていただいたような回転まぶしの中のまゆは、
わくの上において、木でできたくしのような形の道具で上からおして出すのでしたね。

さくねんは、ひいおば様のお喪中（もちゅう）で、
蚕（かいこ）さんのお仕事がいっしょに出来ませんでした、
おとし真子ちゃんは、このまゆかきの仕事を
ずいぶん長い時間てつだって下さり、
ばあばは真子ちゃんはいそがしい者だと思いました。

サクッ、サクッと一回ごとによい音がして、
だんだんと仕事がリズムにのってきて
—また、今年もできましたらお母様と佳子ちゃんとおてつだいにいらして下さい。

蚕（かいこ）は、始めから今のようにであったのではなく、
長い長い間に、人がすこしずつ、よい糸がとれるような虫を作りあげてきたものです。

蚕（かいこ）のそせんは、自然の中に生きており、
まゆももっとザクザクとした目のあらいものだったでしょう。

人間は生き物を作ることはできませんが、野生のものを少しずつ人間の生活に
役に立つように変えるくふうをずっと続（つづ）けてきたのです。

野原に住んでいた野生（やせい）の鳥から、
人間が鶏（にわとり）をつくったお話も、きっとそのうち
お父様がしてくださると思います。

蚕（かいこ）の始まりを教えてくれる「おしらさま」のお話を、
真子ちゃんは、もう読んだかしら。

ばあばは蚕（かいこ）のことでいつか眞子ちゃんに
お見せしたいなど思っている本があります。

女の方が、ご自分のことを書いている本で、その中に、
四年生くらいのころ、おばあ様の養蚕（ようさん）のおてつだいをしていた時のお話がで
てきます。

まだ字などが少しむづかしいので、中学生くらいになったらお見せいたしましょう。

この間、昔のことや家で使っている古い道具についてお話ししてと
おたのまれしていましたが、暮（く）れとお正月にゆっくりと
お会いすることができませんでしたので、思いついたことを書いてお届（とど）けいたし
ます。

今は蚕（かいこ）さんはおりませんが、もう一度場所や道具を
ごらんになるようでしたら、どうぞいらっしゃいませ。

たいそう寒（さむ）いので、スキーに行く時のように温（あたた）かにしていらっしゃい。
ごきげんよう

ばあば

眞子様

掲載した手紙は、美智子さまから学習院初等科の3年生だった眞子さまにあてたもの。
学校の授業で「お年寄りの世代が行っていた手仕事について調べよう」と
いう宿題を出された眞子さまの質問に答える形になっています。

◇◆金田一京助氏の「女性語」観

民主主義の世の中になると、敬語などは無くってよくなると考える人もあるかも知れな
いが、民主主義とは、人を尊敬しなくってよいという主義ではなく、めいめいが、めいめ
いを尊敬し合うのが本当の民主主義である。人に対して丁寧なことばを使うことこそ、民
主主義の本義にもかなうものである。人をうやまうという心は、謙譲な女性にとって、男
性よりも一層自然なことであるから、それで、女性語に、丁寧な、人をうやまうことばづ
かいが、美しく発達している事であって、階級制度が無くなっても、男女平等が叫ばれて
も、そういう点から、日本女性語のよさは、保たれて行くべきはずのものである。

『金田一京助と日本語の近代』（安田敏朗著/平凡社新書）

◆◇ 拉致被害者を救出の愛媛 10 万人署名にご協力を！

トップ 5 に DVD「拉致～私たちは何故、気付かなかったのか」をプレゼント!!

家族会・救う会は、「今年を勝負の年」と定め、なんとしても全ての拉致被害者を救出するために、全国で 1000 万署名の達成と、4 月 28 日と 9 月 2 日に国民大集会を実施し、9 月を全国一斉運動月間とすることなど国民世論に訴え、今年中の 1000 万署名をめざしています。

救う会愛媛・愛媛拉致議連では、全国 1000 万署名の残り 145 万あまりの署名を早期に達成するため、その一翼を担う活動を積極的に実施することになり、経済団体、労働団体、地方行政、地方議会などと連携を強め取り組んでいます。

6 月末現在で 19 名の方から 457 筆の署名が届いております。めざす会の締切は 7 月 25 日（水）でございます。引き続きご協力下さいませ。

めざす会のみなさまへ

TOSS 愛媛代表 戸井和彦

「TOSS」は Teacher's Organization of Skill Sharing の略です。全国に約 1 万人のメンバーがおり、愛媛でも 50 名ほどが「子どもたちにとって価値のある教師」をめざしてさまざまな活動をしています。

休日には社会貢献活動の一環として、五色百人一首大会、チャレンジランキング、発達障がい学習会、宿泊農業体験学習、認知症予防脳トレ講座などを継続的に行っています。どれも、多くの方にご参加いただき、大好評です。

現在、全国的に「新型学級崩壊」が大きな問題になっています。その主要な原因は、発達障がいの増加、就学時健康診断の非機能、モンスターペアレンツの増加、子と同居で配偶者のいない女性の増加、無秩序なメールネットワークなどが挙げられています。今までに起こっていた教師の指導力不足による「学級崩壊」とは要因が異なります。こういった状況を踏まえ、われわれは親学推進協会と連携して、高橋史朗先生のお話しを何度もお聞きしながら親学を推進しています（教育基本法第 10 条 2 項*に基づいています）。

先日、親学推進議員連盟が国会で設立されました。愛媛県内におきましても、多くの方

の支援をいただき、親学推進委員会(仮)の設立に向けて動いています。「めざす会」の会長の青井さんをはじめ、多くの方と会談をさせていただき、志を共にして動いています。

我々は県内7カ所で定期的に例会を開催し、実践検討や模擬授業、情報交換などを行っています。ご関心のある方はぜひ、一緒に活動をされませんか**。

【連絡先】戸井和彦 toyk@monper.org 【団体HP】<http://www.akaenpitu.org.tossehime/>

* 国及び地方公共団体は、家庭教育の自主性を尊重しつつ、保護者に対する学習の機会及び情報の提供その他の家庭教育を支援するために必要な施策を講ずるよう努めなければならない。

** 百人一首や伝統文化、宿泊農業体験学習などのときスタッフが大勢必要です。先生に限らず、一般の方も大歓迎だそうです。

◇◇◇ 事務局から ◇◇◇

◆平成23年度の収支決算報告書を同封致しております。みな様からの会費で会報の発行や講演会・研修会を企画ご案内することができております。ご支援に心から感謝申し上げます。

◆7月13日(金)高橋史朗先生の親学講演会に17時半過ぎから会場準備のお手伝いをいただける方はご連絡下さいませ。18時開場、18時半開演でございます。

◆第5回研修会「パッテンライ!!!」上映会は、前会報では7月21日(土)の午後とご案内しましたが、午前に変更になっております(最初のページをご覧ください)。

◆TOSS会誌「トークライン」7月号掲載の「親学トップ対談」を同封致しました。

◆7月14日(土)の親学基礎講座の参加者募集中です。高橋史朗先生は通常は1講座を担当されるだけですが、この愛媛会場では2講座でご指導いただけます。

★めざす会の事務局の住所が変わりました!!! (新住所：〒790-0932 松山市東石井7-1-24 越智方)

◆月曜日にランチ学習会をしております。お気軽にご参加下さい。時間や会場は下記までお問い合わせくださいませ。

◆年会費(1000円)の切れる方に払込取扱票を同封しております。会員1000名をめざしており現在799名でございます。よろしく願い申し上げます。

健全な男女共同参画社会をめざす会

会長 青井 美智子

〒790-0932 松山市東石井7-1-24 (越智方)

ホームページ <http://www.mezasukai.com/> 電話 090-8971-7721 FAX 089-964-3903

メール michikoaoi25@yahoo.co.jp (件名を明記してください)